

議会だより



初夏の風物詩 ほたる祭り

5月臨時会・議会構成変更 (正副議長、委員長が交代)

2～3P

6月定例会町長行政報告 & 議案審査

4～5P

西桂町安全で安心なまちづくり条例の制定 …… 6P

市町村合併調査特別委員会 …… 7P

地域で活躍する団体を訪ねて

パッシングショット ソフトテニスクラブ 11P



Nishikatsura

平成18年7月26日発行

議会の構成が変わりました

議長に 宮下友義氏、副議長に 滝口新一朗氏を選出

付議された全議案は全員賛成にて承認・可決されました

5月臨時会本会議

行政執行への チェック機能を向上

副議長
就任あいさつ



副議長
滝口 新一朗

私は5月臨時議会におきまして、議員各位の皆さま方のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。地方議会は、今まで以上に行政執行へのチェック機能を向上させる必要が高まり、分権時代に期待される議会の役割を果たしていかなければならないことは急務であります。もとより浅学非才な私ですが、議長のもとで議会運営が民主的で公

私は5月臨時議会におきまして、議員各位の皆さま方のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。地方議会は、今まで以上に行政執行へのチェック機能を向上させる必要が高まり、分権時代に期待される議会の役割を果たしていかなければならないことは急務であります。もとより浅学非才な私ですが、議長のもとで議会運営が民主的で公

町民福祉の向上に努める

議長就任あいさつ



議長
宮下 友義

私は5月9日の臨時議会におきまして議員の皆様方のご推挙をいただき議長に就任いたしました。このことは身に余る光栄であり、職責の重さに身の引き締まる思いであります。

地方分権の進展に伴い、当町におきましても自主的、総合的な施策の展開が必要とされており、行政基盤の強化、少子高齢化社会への対応、地域経済の活性化問題等は急務であります。前田町長が提唱しております、活・活西桂の推進等、政治課題が山積しており、住民の代表である議会の果たすべき役割が飛躍的に拡大してきております。私はこうした時に議長という要職にご

選任をいただきました。もとより微力な私ではありますが、民主的で公平公正な議会運営に努め、町民の声を町政に反映させ町民福祉の向上に努めてまいる所存であります。町民各位の暖かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆様のご多幸とご健勝をご祈念いたします。就任のあいさついたします。

5月臨時会日程

5月2日議会運営委員会
5月9日本会議開会
◇町議案上程（承認2／4）

説明・質疑
◇総務委員会付託
連合審査会

◇付託議案審査
本会議再開

◇付託議案
総務委員長報告（承認2／4）

質疑・討論・採決
◇議長・副議長選挙
指名推選

◇議会運営委員会委員
任

◇議会広報編集委員会
委員選任

◇西桂町消防委員会委員
選挙

◇常任委員会委員選任
正副委員長互選

5月臨時会 審議案件

「報告事項」3件

承認第2号 専決処分事項の報告 西桂町税条例の一部改正

○地方税法等の改正により、条例整備を行なうものです。

承認第3号 専決処分事項の報告 西桂町国民健康保険税条例の一部改正

○承認2と同様。

承認第4号 専決処分事項の報告 平成17年度西桂町一般会計補正予算第8号

○退職手当負担金の追加、積立金を計上いたしました。

西桂町議会構成一覽表

議 長 宮下 友義

副議長 滝口新一郎

総務常任委員会

委員長 渡辺 正一
副委員長 勝俣 照雄
委員 滝口 幸雄
郷田 和美
宮下 友義



総務委員長
渡辺 正一

総務、企画振興、住民福祉関係の調査・議案
審査・請願陳情審査を行う。

建設文教常任委員会

委員長 梅原 和男
副委員長 若林 泰置
委員 石原 滋
滝口新一郎



建設文教委員長
梅原 和男

建設、水道、教育関係の調査・議案審査・請願
陳情審査を行う。

議会運営委員会

委員長 石原 滋
副委員長 滝口 幸雄
委員 渡辺 正一
梅原 和男
勝俣 照雄



議会運営委員長
石原 滋

議会の運営・議会の会議規則、委員会に関す
る条例等、議長の諮問に関する調査及び議案、
陳情等の審査を行う。

市町村合併調査特別委員会

委員長 郷田 和美
副委員長 若林 泰置
委員 渡辺 正一 梅原 和男
滝口 幸雄 滝口新一郎
勝俣 照雄 宮下 友義
石原 滋



市町村合併調査
特別委員長
郷田 和美

市町村合併に関する議論を行い、町の将来像、
財政運営指針の調査を行う。

議会広報編集委員会

委員長 滝口新一郎
副委員長 梅原 和男
委員 若林 泰置 渡辺 正一 郷田 和美

富士五湖広域行政事務組合議会議員 石原 滋 滝口 幸雄
西桂町消防委員会委員 若林 泰置 郷田 和美
西桂町農業委員会委員 滝口 幸雄
西桂町監査委員 渡辺 正一

「子供たちをみんなで守り、みんなでいきいき育てよう」 を合言葉にあいさつ運動のより一層の推進を

前田町長
行政報告

平成18年6月
定例会議



利用者も増加、中学校図書室

育ち学ぶ環境づくり

昨今の社会情勢の中で、児童・生徒を対象としたいくつかの事件が発生し、私も教育委員会に安全対策を図るよう指示しました。また、小中学校の児童・生徒に対して社会規範の指導をするように話をしました。なお、山梨県立高校入試改革での、適切な進路指導をするよう教育委員会に指示しました。

教育施設の充実と地域開放の推進、「本に親しみ人間性を育む図書室開放事業」では、中学校図書室利用者も増加、4月23日には、西桂中学校が、読書活動で文部科学大臣表彰を受賞しました。
個性を育む学校教育の

推進では、8月から教員資格のある23歳の男性がアメリカより赴任予定です。

地域ぐるみの青少年育成活動の活性化では、青少年育成西桂町民会議総会を行い、今年の活動テーマ「子供たちをみんなで守り、みんなでいきいき育てよう」を合言葉に、あいさつ運動のより一層の推進を実施します。

生涯学習機会の拡充と生涯スポーツの振興では、児童・生徒の安心・安全対策の一環として、寿学級開級式の席上、教育委員会及び小学校長より登校・下校時での交通安全・不審者対策・対応のことで「見守り・ふれあい散歩」等で地域の方々への協力要請をした

と聞いています。児童・生徒が健全に健やかに成長をされる教育環境の充実を図る所存です。

活力づくり

農林漁業体験交流事業のホタル祭り、七夕のつどいについては、7月8日に実施。短冊作りに富士吉田市・都留市の放課後児童クラブや文化協会等の協力を得ながら短冊をグリーンセンターに飾り、中国桂林市霊川県の子ども達にも短冊をお願いしました。

遊休農地の活用については、農業委員会をはじめとするボランティアの方々が小学校5年生の稲作作りや2年生のサツマイモづくりに指導し、教育の一環としての農業の



安協による交通安全運動



旧駐在所跡地の駐車場



小学校2年生のサツマイモ苗植え

6月定例会・18年度補正予算の主な内容

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
議案43 一般会計1号補正	△1千102万9千円	17億6千347万1千円
○一般管理費・保健衛生費の減額 収入役等の人件費分を減額しました。	△1千384万8千円	
○企画費の追加 中国靈川県との調印を行うこととなったため関係経費を追加計上しました。	151万6千円	
○障害者福祉費の追加 富士北麓自立支援給付認定審査会の運営負担金を追加計上しました。	62万0千円	
○安全で安心なまちづくりでの腕章、検診事業に係る保健師の賃金等を追加計上しました。	68万3千円	
議案44 老人保健特別会計1号補正	117万9千円	4億1千729万1千円
○償還金の追加 前年度分の精算による社会保険診療報酬支払基金への返還金を追加計上しました。	117万9千円	
議案45 介護予防支援事業特別会計1号補正	△60万0千円	154万3千円
○介護予防支援事業費の減額 委託料を減額し、臨時職員賃金を計上しました。	△60万0千円	

大切さや地域の方々との交流を進めます。
また、10月に予定しているサツマイモ収穫祭に向けて苗を植えたという聞いております。

ふるさとづくり

町の貴重な財産であります山林については、松くい虫防除対策事業を展開しています。

都市づくり

ユニバーサルな町づくりに関する交通安全事業については、このたび、交通死亡事故ゼロ1500日を達成し、6月8日に山梨県警察本部長より感謝状をいただきました。これもひとえに交通安全協会の役員をはじめとする関係各位の交通安全に対する普及啓蒙活動や、交通安全教育の推進等によるものと、改めて感謝申し上げます。町としても交通安全施設の充実を図ってまいります。

公共施設の整備・更新
における「町有地有効活用事業」の、旧駐在所跡地については、5月15日より町が駐車場としての造成を行い、利用できるようになりました。

地域防災の推進

5月10日に富士山火山災害等に関する相互応援体制について、環富士山火山防災連絡会を構成する山梨県側の1市3町3村及び、静岡県側の6市3町において、環富士山地域における災害時の相互応援に関する協定書の調印が行われました。これにより、広域的な避難に必要な施設の確保、避難誘導活動、被災者等の受け入れ、また、人材の派遣や資機材等の提供など、迅速な応援を行うことで地域住民はもとより観光客等の安全確保が図られると思います。

参加と連携づくり

国際交流の推進については、中国桂林市靈川県

との友好交流を進め、8年目となります。8月29日から4泊5日の日程により中国ハルビンにおいて、第8回日中韓3カ国地方政府交流シンポジウムが開催され、その席上で靈川県との友好協定書を調印するための事務を進めています。

当日は中国側の要請を受け、町から町長・議長をはじめ調印式へ出席をすることとなりました。また、本年は中国人民対外友好協会を通じて10名を招聘する方向で進めます。また、今年で5回目の環太平洋学生キャンプ受け入れは、8月8日から8月11日までの3泊4日で太平洋周辺11ヶ国の男子高校生11名の参加を予定しています。

続いて「行政改革」についてですが、収入役が6月30日をもって任期満了。その後は欠員とし、職務代理により対応し、事務に遺漏のないよう進めます。

皆で防犯に対する、安全で安心なまちづくりに参加を 安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向け 西桂町安全で安心なまちづくり条例を制定

問 西桂町安全で安心なまちづくり条例の制定に至るまでの経緯は。

総務課長 当初、青少年の犯罪が増えていることを懸念したなかで各町民に安全で安心なまちづくりをお願いし、町民・各種団体が安全で安心なまちづくりを自主的に行っていたいただいたほうが、町民の防犯意識の向上につながると思います。この条例を制定しました。教育委員会は青少年育成西桂町民会議等をお願いし、町でも警察等と報告等するなかで連携し、各種団体にも呼びかけを進めていきたい。

備、町民に周知していただき、安全で安心なまちづくりの為に有効な手立てを講じるように要望します。

町長 ご婦人方等が夕方から夜にかけてウォーキングをしている人が増えてきました。その人達に働きかけて、子供の見回り・声かけ運動をしていただければ安全な町づくりが出来るのではないかと思います。当町では、腕章を付けて下校時に散歩等をしていただければと思います。腕章を付けていけば、子供たちに声をかけやすく、パトロールをして安全なまちづくりに努力していることも、町民への啓発、町民の意識高揚につながると思います。

あくまでも、ボランティアで行ってもらい、責任を押し付けることの無いように、皆で防犯に対する、安全で安心なまちづくりに参加をしていただきたい、この条例をつくりました。



小学校での、あいさつ運動

6月定例会日程

6月2日議会運営委員会
9日本会議開会

- ◇閉会中の委員会事務調査報告（市町村合併調査特別委員会）
- ◇町長行政報告
- ◇町長議案一括上程（承認5・6、議案39～45）
- 一括説明・一括質疑
- ◇各委員会付託連合審査会
- 付託議案審査

16日本会議再開

- ◇付託議案総務委員長報告（議案39～45）
- 一括質疑・討論・採決
- ◇付託議案建設文教委員長報告（承認5・6）
- 一括質疑・討論・採決
- ◇議員発議上程（発議1）
- 説明・質疑・討論・採決
- ◇西桂町選挙管理委員会委員及び補充員選挙

6月定例会 審議案件

「報告事項」2件

承認5 平成17年度西桂町簡易水道特別会計継続費繰越計算書報告

〇継続、繰越明許された事業費について、地方自治法施行令の規定により報告するものです。

承認6 平成17年度西桂町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書報告

〇承認5と同様。

「規約」1件

議案39 富士北麓自立支援給付認定審査会共同設置規約の制定

〇障害者自立支援法が4月より施行され、障害程度区分の審査判定業務を行うため市町村審議会を富士吉田市、西桂町、忍野村及び山中湖村において共同設置することに伴う規約の制定

「条例」3件

議案40号 西桂町安全で安心なまちづくり条例の制定

〇別記説明

議案41号 西桂町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

〇山梨県重度心身障害者医療費助成事業補助金交付要綱の改正に伴う改正

議案42号 西桂町乳幼児医療費助成金支給条例の一部改正

〇山梨県乳幼児医療費補助金交付要綱の改正に伴う改正

「補正予算」3件

議案43号 平成18年度一般会計補正予算1号

〇別記説明

付議された全議案は全員賛成にて承認・可決されました

6月定例会本会議

県の合併構想策定経緯確認を 推進構想変更申請の考え

富士北麓合併研究会への取り組みは 当面単独存続、研究会参加へ

富士五湖市構想 研究会再開

意見 どのような経緯で

当町が、東部広域市町村圏になったのか、確認していただきたい。また、富士北麓合併研究会の再開についての町の考えは、

企画振興課長 町は、当

面単独の現状のまま進み、富士北麓合併研究会等で勉強会を進める方針であり、それらの状況を判断していただきながら、県に山梨県市町村合併推進構想の変更をお願いしていきます。

町長 富士五湖市でも合

併はしませんというスタンスで進めています。財政的や色々な面で、単独が厳しくなる場合は、富士五湖市を立ち上げる事も良いと思います。それには、勉強会をしてメリット・デメリットを何年かかろうと話し合いを進めることが一番良いのではと思います。富士北麓合併研究会は再開します。

意見 もし合併の勧告が

あれば町民に民意を問うということ、町民に広報等で周知していただきたい。

企画振興課長 将来、合

併せざるを得ない場合は、富士五湖市が自然です。で、各種勉強会をしながら、議員・住民の考えを踏まえ、検討する課題だと考えています。

意見 合併をする場合に

は富士北麓地域での合併構想、町民を主体とした合併構想をするように県に伝えていただきたい。

町長 あくまで、富士五

湖市構想で研究していくことを県に報告していきたいと思っています。

意見 富士北麓合併研究

会を再開するという事も踏まえながら、これから将来に向かって西桂町はどうあるべきかを、住民の意思を尊重しながら、議会でも合併問題について研究していきたいと思っています。誤らない道を選んでいただきたいと思えますので、町長の固い決意をお聞きたい。

町長 なにがなんでも合

併しないのではなく、とりあえずは合併しません。研究会を再開しながら町民の意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

先行的合併は否定

問 県が都留市・道志村

との合併構想を示していることが理解に苦しむが、そのことについては。

町長 都留市・道志村と

は生活のつながりが少なく富士五湖の方に生活圏が移っていると説明に行きましたので、充分理解をしていただいたと思っています。

問 先行的合併について

は。

町長 先行的合併は考

えられません。また、町民も納得しないと思います。町では当分の間単独でいきながら、研究会・勉強会でメリット・デメリットを町民の皆様に報告していくのが良いと思えます。



渡辺義勝 委員
(上町地区)



相澤健治 委員
(本町地区)



渡辺賢亘 委員
(柿園地区)



川村敏文 委員
(倉見地区)

議案44号 平成18年度老人保健法特別会計補正予算第1号
○別記説明
議案45号 平成18年度介護予防支援事業特別会計補正予算第1号
○別記説明
意見書提出
[議員発議] 1件
○別記説明
[選挙] 西桂町選挙管理委員会の委員及び補充員選挙執行選挙管理委員

選挙管理委員補充員
渡辺 貞夫 補充員(倉見区)
重田 伸治 補充員(柿園区)
渡辺 清吾 補充員(本町区)
渡辺 利幸 補充員(上町区)

(調査) 世界遺産・市町村合併問題の概要について

(結果) 県、協議会を主体、世界・全国へ発信するよう力を合わせる事が大事

西桂町議会では、平成18年4月24日に和歌山県那智勝浦町を訪れ、世界遺産・市町村合併問題の概要について研修を行いました。那智勝浦町は、和歌山県の南東部に位置し、平成16年7月に「那智の滝・熊野古道・熊野那智大社・那智山青岸渡寺・補陀洛山寺」の文化財等が「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されました。那智勝浦町は自然と歴史の町であり、美しい海や山を大切にし、自然との共存をめざしたまちづくりをすすめています。

問 世界遺産が3県、多市町村と広域ですが、市町村間の連携は、**教育委員会** 県、協議会を主体に話し合い、世界・全国へ発信するよう力を合わせる事が大事だと思います。

問 和歌山県世界遺産協議会の会議は、年何回ですか。

教育委員会 和歌山県世界遺産協議会の会議は年1回、その他、熊野地域協議会が年2回です。

問 維持管理の費用は、**産業課** 今のところは、案内板の手入れ等ですが、ボランティアを視野にいれながら古道の管理をしなければならぬと思います。

問 熊野古道の管理やゴミの処理をしているボランティア団体がありませんので、今のところ問題はありませんが、古道の補修修繕については、歴史的な技法なので、これからの問題です。

問 世界遺産に指定された以後にボランティアの部会ができたのですか。

産業課 地域の環境保全をするグループや、イベント、パンフレットを作るグループ等、4グループが、世界遺産に指定される前からありました。

問 補助金については、**産業課** 当初は、整備をする材料費などの補助金

はありましたが、労力はボランティアです。

問 世界遺産に指定されるまでに、一番ネックになったことは、**産業課** 世界遺産登録地域が3県にまたがっていますが、県、市町村間でのネットワークになることはありませんでしたが、熊野古道の、左右50mの民有地所有者の協力が一番の問題でした。

問 和歌山県から合併構想を発表した時に、町への合併についての勧告がありましたか。

那智勝浦町議長 いずれは市町村合併勧告が出るとは思いますが、今のところは、市町村に合併について努力してくださいという要望です。

問 平成の合併で、那智勝浦町からの合併要望は、**総務課** 当町の場合、隣の太地町との合併要望をしましたが、駄目になりました。これからは、県の広域的な市町村圏単位での合併構想問題になると思います。



世界遺産登録までの流れ

- ① 暫定リストに物件掲載
- ② コア(核心地域)・バッファ(緩衝地帯)ゾーンの確定
- ③ 物件を保護するための法・条例の整備
- ④ 世界遺産条約関係省庁連絡会議
- ⑤ ユネスコに推薦書類を提出(申請書)
- ⑥ 専門家による調査(イコモスの現地調査)
- ⑦ ビューロ会議(世界遺産の前会合)
- ⑧ 世界遺産委員会(物件の審査と登録の可否決定)
- ⑨ 世界遺産登録

西桂町議会議員

那智勝浦町での研修



追跡

一般質問のその後 あの質問はどうなったずら

平成16年3月議会

質問

新高区配水池建設事業の 今後の計画について

北富士演習場周辺水道
設置助成事業として横浜
防衛施設局より国庫補助
をうけ、富士吉田市上暮
地に建設していた新高区
配水池が平成15年12月に
完成し、上町の池ノ頭地
区や浅間地区の水圧の向

上及び、倉見の松久保地
区へ加圧給水していたポ
ンプの停止による電気料
の節減など事業の効果が
あらわれているようです
が、今後の水道事業につ
いて、どのような計画を
進めていく予定か。

答弁

13時間安定給水のため もう1基の建設を検討

今後の計画としては、
今回設置した配水池と同
じ容量の1020トンタ
ンクの建設計画を協議し
たいと考えています。横
浜防衛施設局からは厚生
労働省の基準に従い、13
時間安定した給水が図ら

れる施設とするよう指導
がありましたので、この
指導に基づき平成20年度
までの計画としてもう1
基配水池の建設と関連す
る施設の整備計画を進め
たいと考えています。

現状

平成18年度、第2配水池築造及び 取水ポンプ室築造等を実施

簡易水道事業について
は、防衛庁補助事業であ
る北富士演習場周辺水道
設置助成事業として、13

時間給水を行う新高区配
水池の建設に向け、平成
17・18年度の継続事業と
して、第2配水池築造及

び取水ポンプ室築造、場
内外配管工事並びに電気
機械、計装設備工事を実
施。



建設中の新高区配水池

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

グリーンセンター内に飲食物の持ち込みを禁ずる放送も掲示もあるが少しも守られていない。徹底をきいて下さい。

編集についてお苦勞様です。まい、回読せて頂いております。町政を議会の事でとらえられすぎておられます。

神鈴の滝遊歩道の今、道がケツで新しいな。とても歩きやす。歩くとふかふかで気持ちがいいです。

YLOから中学校にかけて桜の時期はちやうどと飾ってほしいと思います。以前はあふみにさくら祭りの方にいておられた方が、人通りの多い所にも飾るためにおやめにしようと思います。

郷土発展の為 諸事業に尽力する各議員の熱意に町民の自覚も層深め行動せねばと思います。

議会だよりには、いつも読むようにして、内容をよく読んで、町政の発展に貢献できるようにしたいと思います。

平成18年6月定例会 あなたの請願・陳情は

義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書

教育の機会均等が引き続き確保されるよう国に対して意見書を提出

政府は、国の財政再建方針ともあいまって、国庫補助・負担金、地方交付税、税源移譲の「三位一体」改革の論議の中で、平成18年度から義務教育費国庫負担金について、国庫負担割合が2分の1から3分の1に縮減されました。義務教育費国庫負担金の減額分は、平成18年度は所得譲与税として、平成19年度以降は個人住民税として税源移譲されることとなりました。義務教育費国庫負担金制度は、憲法の要請を受け、昭和28年以来制度化され、国の責任として子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の義務教育を保障するものとしてきわめて重要な制度です。税源移譲されれば義務教育費国庫負担制度は廃止して構わないとの指摘がありますが、全額都道府県に税源移譲されたとしても、現状の国庫負担金を下回ることが十分に予想されます。そして、多くの県では財源が確保できずに「40人学級」など現在の教育条件の維持すらも危惧され、また、県の財政を圧迫しひいては市町村財政にも影響を与えることにもつながるおそれがあります。義務教育費国庫負担制度が維持されなければ、義務教育の推進に重大な影響を及ぼすことが必至であり、特に、山間地の多い山梨県においては、その影響は図りしれません。

また、見直しの中で、学校事務職員・栄養職員の適用除外も検討課題として取り上げられていますが、これは、義務教育制度の根幹にふれるものであり、学校運営にも大きな影響を及ぼすものです。よって、義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等が引き続き確保されるよう強く求めるものであります。

平成18年6月16日

提出先 文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

採択となりました

請願1

義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

○請願者 南都留地区PTA、校長会、教頭会、教職員組合

○要旨 意見書提出の要請

○紹介議員 梅原和男



地域で活躍する団体を訪ねて その29



パッシングショットソフトテニスクラブの皆さん（高学年）

訪問先

パッシングショット ソフトテニスクラブ

〔取材 滝口（新）・梅原〕

問 この団体の正式な名前を教えてください。

小林さん 名前は、パッシングショットソフトテニスクラブです。

問 代表者と指導者のお名前を教えてください。

皆さん 代表者は小林康行さんです。小学部長は滝口淳一さん、中学部長は小林和也さんです。

問 現在のクラブ会員数を教えてください。

皆さん 現在は、小学部44名（男子4名・女子40名）、中学部20名です。

問 練習場所、時間、会費を教えてください。

皆さん 毎週日曜日、三ツ峠グリーンセンターテニスコートで、小学部が9時～12時、中学部が12時～14時30分まで練習をしています。会費は、一人年間1万4千円です。現在クラブ会員を募集しています。（特に男子）

パッシングショット 基本方針

☆明るく・楽しく・しっかりと、挨拶ができるようになるよう

☆ゆつくり芽を出せ・しっかり根を張れ
正しいフォームを、身につけよう

☆たかがロビング・されどロビング
ロブを制する者が、試合を制する

☆勝っておごらず・負けてくさらず
負けた時にこそ、得るものがある

問い合わせ先

小学部 小俣さん

（25・3622）

代表 小林さん

（25・3451）

現在
会員募集中



パッシングショットソフトテニスクラブの皆さん（低学年）



真剣な練習風景



児童館こどもまつり



三ツ峠歩け歩け運動

「わが家のアイドル・町の風景、行事等」写真募集

お子さん・ペット・風景等の写真を募集します。写真の裏に住所、(保護者氏名、お子さんの氏名、生年月日) 撮影者名、電話番号を記入してください。

※応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

直接あるいは郵便で

応募方法 〒403-0022 西桂町小沼1501-1
西桂町役場 議会事務局へ

クロスワードパズル

今号の賞品：「富士山のうまい水(1.5リットル×8本入)1ケース」

正解者のうち抽選で10名の方に、写真の富士山のうまい水をプレゼントします。二重枠の文字を並べ替えて、答えを完成させてください。

応募方法：答えと住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだ感想や議会へのご意見を書いて、はがき、FAX、E-Mailにてご応募ください。

締切は8月31日(当日消印有効)です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

1		2		3
		10	4	
7	5			
8				6
9				



たてのかぎ

- 1、議会広報〇〇〇〇〇委員会
- 2、議会研修視察の県名(那智勝浦町)
- 3、冬休みでなく、〇〇休み(7・8月)
- 4、他から援助をうけず、自分の力で生活すること
- 5、器物、刀剣などの良否・真贋を見分けること。鑑定。
- 6、地表の水におおわれない部分

よこのかぎ

- 1、ハトは〇〇〇の象徴
- 7、ひっそりと、物静かなさま
- 8、札幌で有名な雪のまつり
- 9、水に浮かせる目標物
- 10、桃やぶどうなどの〇〇〇

ヒント

私たちの住んでいる県です

〒403-0022 西桂町小沼1501-1
西桂町議会広報編集委員会
Tel 0555-25-2121 Fax 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

編集委員長 滝口新一朗
副委員長 梅原和男
委員 若林泰置
委員 渡辺正一
委員 郷田和美

(郷田)
これからの新しい分権時代に対応した、真に住民と共にある議会を目指して取り組んで参る所存です。活力ある町づくりに向け、この議会だよりが一人でも多くの町民の皆さまの参考に資すれば幸いです。

6月定例会も終了し、この議会だよりが届くころは夏本番を迎えていることでしょう。ゼロ金利も解除され、景況感もようやく少しは改善の傾向が見え始めたようです。

平成15年4月選出議員の任期も三年を経過しました。就任以来、一貫して市町村合併の問題が重要課題として議論が重ねられております。地域住民の代表としてしっかりと対応をして参りたいと考えています。

編集メモ